

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 6 月 5 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '監査委員会運営事務' and '健全な財政運営の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on monitoring activities and costs.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '都市監査委員会参加回数' and '年間監査の実施日数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫, 県, 地方債, etc.) and personnel costs (人件費) for 27-31 years.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 28 and 29 years, including items like '報酬', '需用費', and '負担金補助'.

Table for (4) 当該年度の実施内容, detailing implementation for 29, 30, and 31 years. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	監査委員会運営事務	事務事業No.	10303000736	所属課	総務課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、平成17年10月1日に監査委員が選任され、監査委員事務局が設置されたことに伴い、監査を効率的に実施するために年間計画を策定した。平成25年度より、監査委員事務局が総務課内に設置され、職員は兼任となっている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・住民より個別外部監査の要望がある。 ・平成20年度より財政の健全化への取り組みに伴い、弁護士や公認会計士の採用が望まれていたが、平成25年12月より代表監査委員に税理士に就任していただいた。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 監査事務については兼務のため、研修会等への参加回数が制約される。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 監査事務の執行が計画的に実施できることにより市の行財政運営が適正に執行されているため、健全な財政状況となることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 地方自治法で定められている監査事務を計画的に行うために必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある 対象と意図については現在のままで良いとしても、監査委員及び事務局職員のスキルアップを図ること、及び検査の精度を上げるにより更なるチェック体制が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 自治法上で定められている会計上のチェック体制が無くなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名 余地がない 特になし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 監査委員が参加する研修会を実施する都市監査委員会の負担金や必要最低限の食糧費であり、削減の余地はないと思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 市の財政収支に対して公平に検査・審査・監査をするものであり、不服があれば住民監査請求、住民訴訟を申し立てることが可能であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 監査委員及び事務局職員について監査における専門知識が必要であり、それによって検査・審査・監査の効率性及び正確性が保たれる。特に職員については、監査事務を補助する立場からも更なる専門知識の習得が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 監査事務については兼務のため、研修会等への参加回数が制約される。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---